

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆6月議会・補正予算質疑 …………… 2 P
- ◆一般質問（4人）…………… 4 P
- ◆6月議会最終日 …………… 8 P
- ◆請願・陳情・議長室エッセイ …… 9 P
- ◆町政へ一言 …………… 10 P

2014 8 / 1

第130号



火災に備え、消火技術を磨く  
6/29(日)ポンプ操法大会開催

## 被災農業者経営体体育成支援で 追加補正3億7千万円を可決 一般質問に4人の議員が登壇

平成26年第2回板倉町議会定例会が、6月10日から18日まで9日間の会期で開かれました。今回の定例会では、同意、報告、専決処分事項、補正予算、町道認定など11議案について審議し、いずれも全会一致で可決しました。2日目の一般質問には4名の議員が登壇して、町の防災対策、小学校英語教科化の問題点、子どもの体力向上及び妊娠しても胎児が育たない不育症など、町政各方面にわたる質問を行いました。最終日には、農業委員会委員の推薦、請願1件の継続審査、陳情1件の採択、議員派遣の件を決定し会期を閉じました。

### 同意

■板倉町固定資産評価員の選任について  
前固定資産評価員の税務担当課長でありました長谷川健一さんが役場職員を退職したことに伴って、後任に新たに異動された税務担当課長の根岸一仁さんの同意を求めるものです。

■板倉町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
固定資産評価審査委員会委員3名のうち和田利男さんが平成26年7月31日をもって任期満了になるため、再任の同意を求めるものです。

### 報告議案

■平成25年度板倉町一般会計繰越明許費繰越額の報告について  
子ども・子育て支援新システム導入事業を含む8事業であり、翌年度への繰越額の総額は1億3,486万3千円になります。

■平成25年度板倉町水道事業会計予算繰越額の使用に関する計画の報告について  
西配水場施設整備工事、県道斗合田・岩田・岡里線配水管布設替工事、町道1-11号線配水管布設替工事の3つの工事に関するものです。

■平成25年度板倉町土地開発公社決算及び事業報告  
■平成26年度板倉町土地開発公社予算及び事業計画

### 補正予算審議

■平成26年度板倉町一般会計補正予算(第1号)について  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億8,528万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を57億1,728万5千円としました。

### 主な質疑内容

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係の2議案を審議しましたので、主な質疑内容について掲載します。

して中期的に見守って行きたいし、新店長の手腕にも期待したいと考えている。

### 秋山委員

臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の支給は、いつごろになるのか。

### 福祉課長

対象となる世帯へ対して通知したい。またあわせて、広報紙及び町ホームページで周知したい。臨時福祉給付金の方が優先されるのでこちらの申請を8月から開始し、子育て世帯臨時特例給付金の申請を1か月遅らせて9月から申請を受け付けたい。

### 野中委員

大雪で被災された農家の復旧状況について、資材不足等が心配されているので、現段階の状況を伺いたい。

### 福祉課長

消費税アップ分に対する所得の低い方への影響を考慮して支給されるもので暫定的、臨時的な措置であると思う。

### 延山委員

大雪被害で再建、修繕を行う施設ハウス等が220棟あり3億7,000万円の追加であるが、資材がなくて再建が計画通りに進まないという。追加補正を組んだが、

### 産業振興課長

限られた時間のなかでの国・県等への申請になると思うが間に合わなかった場合はどんな対応をしていくのか。

### 青木委員

臨時福祉給付金給付事業とあるが、臨時というから単年度だけなのか。消費税アップ分の措置だと思うが、消費税は来年も続くもので、その辺の見通しはどうか伺いたい。

### 市川委員

今回の補正で上がったものだけでなく、災害があったときに備えて各行政区へ防災倉庫があった方がよいと思うが。



### 総務課長

今回の防災倉庫は宝くじ助成事業で設置するもの。3年前から申請していた。今年は県内で19団体が申請し、6団体が決定となったなかの一つである。今後もこちらの事業を進めたいと考えている。

### ◆本会議、補正予算の質疑など



### 荒井委員

臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業のどちらも電算委託料の追加補正だが、詳細を伺いたい。

### 福祉課長

いずれの給付事業も消費税引き上げに対しての臨時的な負担軽減措置であり、当初国から示された内容が煮詰まってきたので追加の事務費を含めた委託料の補正となった。

### 黒野委員



農産物直売所運営費補助金300万円の追加だが、今後の方向性を伺いたい。

### 産業振興課長

季楽里運営も苦戦している状況。地域農業振興の拠点と

### 産業振興課長



南地区、海老瀬地区では稲

一般質問

議会 2 日目  
6 月 11 日 (水)

① 森田 義昭 議員

万が一の災害に備えて町の防災対策を問う  
児童生徒を守るための危機管理は



天災は忘れた頃にやってくる  
町の防災対策への取り組みは

問・町の防災対策について、  
特に集中豪雨、竜巻や大雪にどのように取り組んでいるのか伺いたい。



▲職員も全員参加して避難訓練を実施

答・総務課長 町で一番に想定される災害への対応ということで大雨洪水の防災対策について説明したい。台風などの大雨の場合、気象情報等を確認し、防災関係にかかわる総務課、都市建設課、産業振興課で対応を協議している。特に台風時は担当職員がまず役場に待機し、警戒態勢をとりながらパトロールを行う。町内各所の現状を把握するため、情報収集することから始めている。その結果で災害発生の恐れがあるのか、無いのかを判断している。万が一、災害が発生する危険性が高いとなれば、昼夜を問わず、職員を招集し災害に備える体制を整えることになつていく。大雨洪水だ

けでなく、ご質問の集中豪雨、竜巻や大雪等に関しても同様に対処したいと考えている。

災害から児童を守るための学校災害対応マニュアル

問・学校災害対応マニュアルについて伺いたい。

答・教育委員会事務局 自然災害から、児童生徒を守るための危機管理のあり方をまとめたのが、学校災害対応マニュアルとなり、今年5月に落雷・竜巻・突風編が追加された。こちらでは第1に、被害を未然に防ぐ危機管理として、防災教育や避難訓練、防災管理として施設設備管理の徹底、また発生時の対応等についての職員間での共通理解

を図ることなどがあげられている。第2に、災害発生時に被害を最小限に抑えるための発生時の危機管理として、気象情報を収集する方法をまとめ、たほか、落雷や竜巻・突風への具体的な対応が示されている。第3に、危機がおさまった後の児童生徒の心のケアや授業再開などを図る事後の危機管理として、災害対策本部の設置や災害状況の確認、その対応などを挙げている。今後も、県教育委員会から示されたマニュアルに基づき、各小中学校で導入を図り、教育委員会として、指導をしていきたい。

答・町長 災害への対応は、個人の対応が重要である。町もやれる事はやってはいるが、災害時における町民一人ひとりの自己責任の重さということもこれからもPRしたい。

高齢者、障害者等に配慮した福祉避難所の指定は

問・当町における福祉避難所について伺いたい。

答・総務課長 町の福祉避難所は、保健センター、各地区小学校の体育館、障害者生活活動センター、デイサービスセンター、小規模多機能事業所等がお、ミモザ荘、ケアハウスヒマワリ、グループホームりんどうの計11か所を指定している。

「いたくらん」が町のイメージキャラクターに決定

問・イメージキャラクターが決まったが、投票率を聞きたい。

答・産業振興課長 投票率については世帯数で計算すると5割を切っていた。小中学生を対象に行った投票でも約5割程度。多くの町民の皆様が大変お世話になり決定した「いたくらん」、板倉まつりでお披露目していきたい。



定できなくもないので、慎重に対応したい。また、教育長の指導力に期待したいと思つている。

基礎教育に対する意見

○学力テストの平均点の高さは、将来の日常生活に必要な学力を獲得している証ではないか。にもかかわらず、学力低下で国際競争社会から脱落すると、日本の将来不安が各分野で論議されている。教育界も巻き込まれている。将来不安をおおる情報の発信源は、教育産業と一部御用学者の営利目的にあるのではないか。教育産業の思惑に振り回されない「読み・書き・計算の基礎学力」をしっかり身につけさせるといふ義務教育の原点に立つた教育が必要であると思ふ。

一般質問

議会 2 日目  
6 月 11 日 (水)

② 青木 秀夫 議員

「読み・書き・計算」の基礎教育の徹底を



学力テスト問題の内容(難易度)について

問・今年も4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に学力テストが実施された。小学校6年生対象に限ったテスト問題の内容について、教育長自身を6年生当時に置き換えての感想を伺いたい。

答・教育長 A問題については、学校で普通に学習していればできると思うが、B問題は説明問題で読むこと、書くことに精通していないと難しいという気がしている。

学力テストの平均点の評価は

問・小学校6年生対象の基本問題であるA問題でも、小学生にとっては結構難しい内容に思える。それでも、昨年のテスト結果が国語Aで全国平均62・9点、群馬県平均61・3点、算数Aで全国平均77・3点、群馬県平均76・4点という平均点となつていく。この平均点をどのように評価しているか。

答・教育長 A問題については、そこそこできていくので悪くはないと思つている。しかし、B問題は、内容がやや難しい部分があるけれども不十分な結果、まだまだという評価である。

最近の学力テスト結果(平均点)を過去と比較して

問・小学校6年生対象の学力テストのA問題であつても、平均点程度の学力を確保していれば、日常生活、ほとんどの仕事に対応できると思う。50年、60年前の小学生の学力と、ここ数年の学力テスト結果を比較しての感想を伺いたい。

答・教育長 50年、60年前と今の小学生の学力を比較したとき、学力そのものについて差はないと思つている。ただ、当時は与えられたものでなく、探究心を持つてがらばついていた部分、姿勢に違いがあつたと思う。

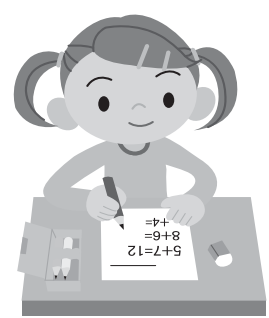
教育産業の思惑(営利目的)に

左右されない教育を

問・現在の学力は、50年、60年前と変わっていない、差はないという認識を教育長も持っている。そういう実績、現実があるにもかかわらず、日本は学力低下、学力不足で国際競争に敗れて国際社会から取り残されると、マスメディアまでが日本の将来不安、危機を取り上げている。そういう社会不安をおおっている情報の発信源は、教育産業であるといわれているが、教育長、町長の認識は。

答・教育長 学力不足という情報に影響されて、ついつい学力不足を言つてしまふところはあるけれども、決してあおるようなことはせず、基礎学力の習得に努めていきたい。

答・町長 性悪説にたてば、教育産業的なものが学力低下、学力不足をおおつて社会不安を撒き散らして、その結果利益を得るといふ議員指摘の考え方に半分ぐらい同調できるといふ考え方も否



# 一般質問

議会 2 日目  
6 月 11 日 (水)

## ③ 小森谷幸雄 議員

### 全国平均を下回る児童の体力テスト結果 体力向上対策の課題と今後の方針を



児童の体力が低下している  
体力アップへの取り組みは

個人に伝えているのか。  
答・教育委員会事務局 個人に成績を配布している。また保護者にも伝えている。

問・「全国体力テスト」において群馬県は初回調査以来5年連続全国平均を下回り、男子児童は46位、女子児童は42位である。県内35市町村における当該の児童の位置づけを聞きたい。

答・「体力テスト」の結果をもとに家庭との連携を図り、日常生活における体力づくりの推進をしているのか。

答・教育委員会事務局 各学校において独自の取り組みをしている。

問・近隣市町では「体力テスト」の結果を受け、各教育委員会が独自のプランを立て、児童の体力アップに取り組んでいる。当該の取り組みを伺いたい。

答・教育委員会事務局 平

答・教育委員会事務局 活用シートの利用状況は把握していない。目的に沿った活用ができるよう努力したい。

県で取り組む体力向上とは

問・群馬県教育委員会では26年度に取り組まれる体力向上の新規事業とは何か。  
答・教育委員会事務局 群馬県の児童生徒の体力テストの結果が全国平均を下回り、改善が図られない状況に危機感を持ち、体力向上のため、新たに計画した「ぐんまの子どもの体力向上プラン」である。各教育委員会、学校関係者、大学、スポーツ団体など地域の関係団体で「体力向上支援協議会」「推進委員会」を設置し、総合的な支援を行うものである。各学校ではこの方針に沿い体力向上プランを作成し、年間を通して体力向上を図る取り組みである。また教員の資質向上を目指した「体力向上研修会」も設置された。

問・新規事業は学校だけでは

問・体力向上対策の課題と今後の方針について。  
答・教育長 各学校で立案されたプランを学校長、教頭、体育主任がリーダーシップを発揮し、継続性を持って実行することが大事である。体力向上策については一律の指導も必要であるが、児童生徒個々の運動能力を勘案して実施することも大切である。

問・群馬県教育委員会では26年度に取り組まれる体力向上の新規事業とは何か。  
答・教育委員会事務局 群馬県の児童生徒の体力テストの結果が全国平均を下回り、改善が図られない状況に危機感を持ち、体力向上のため、新たに計画した「ぐんまの子どもの体力向上プラン」である。各教育委員会、学校関係者、大学、スポーツ団体など地域の関係団体で「体力向上支援協議会」「推進委員会」を設置し、総合的な支援を行うものである。各学校ではこの方針に沿い体力向上プランを作成し、年間を通して体力向上を図る取り組みである。また教員の資質向上を目指した「体力向上研修会」も設置された。

# 一般質問

議会 2 日目  
6 月 11 日 (水)

## ④ 秋山 豊子 議員

### 不育症に悩むかたへの環境整備を早急に 対策として相談窓口の設置、公費助成を



不育症への認知度は低い  
患者のサポートしていくべき

問・急激な人口減少社会を回避するため、子供を産み育てやすい環境を整備する施策の拡充が急務である。今回質問の不育症は妊娠しない不妊症と異なり、妊娠はするが流産や死産を2回以上繰り返す結果として子供がなかなか持たないというものである。厚生労働省研究班の調べでは、不育症患者は妊娠経験者の4.2%以上に上り、2007年の人口統計をもとに

問・健康介護課長 現時点では、不育症については町に対して相談はなく、対応はしていない状況である。

問・不育症への認知度は低い上に、保険診療適用外で高額な検査費用と治療費を必要とするため、出産

を諦めるケースも少なくない。そういう中で関係者への周知を図っていく事が大事である。

問・健康介護課長 これまで不妊症については町でも取り組んできた。不育症については一切周知等も行っていない。今回の質問を契機ということでは、町ホームページや広報紙等で周知を図っていく。

不育症へも公費助成の検討を

問・不育症治療は通常の分娩と違い高額な医療費が発生するので、公費助成を考えてもらいたい。助成については、近隣の佐野市や小山市で医療保険適用外の不育症に係る検査費用及び治療費を助成し

ているがいかが。

問・健康介護課長 助成の関係では全国で47の自治体が不育症の検査と治療に助成している。県内では助成している自治体はない。最近、館林市で不妊治療と合せて不育症に対しても1年に5万円の助成を今年度行う事を検討している。本町においては、不妊治療1年度あたり上限10万円、申請は1年度1回、通算5回まで助成している。不育症の助成についても同様に町の少子化対策と子供を希望する夫婦への経済的支援ということで前向きに考えている。

問・相談窓口の設置は。  
答・健康介護課長 一番身近な相談窓口として保健センターに窓口を置き、県と連携を図りながら対応していく。

健康寿命対策が急務であるが

問・健康寿命対策について本町の介護を必要とせずに生活できる健康寿命と平均寿命は県平均を大きく下回っている。町民を巻

き込んでの対策が急務と考えるが。  
答・健康介護課長 長寿のためには運動、栄養、休養、社会活動などが柱になると考えている。今年度は町の健康増進計画、それと食育推進計画の改定と策定を行う年度となっている。今後、全庁的な取り組みが必要なので努力していく。

問・子ども・子育て会議の進捗状況及び二一ス調査の結果は。  
答・福祉課長 全体で80%の回収率で二一ス調査は終了した。板倉町は幼稚園よりも保育園利用者が多いと感じている。

問・子ども・子育て会議の進捗状況及び二一ス調査の結果は。  
答・福祉課長 全体で80%の回収率で二一ス調査は終了した。板倉町は幼稚園よりも保育園利用者が多いと感じている。

# 農業委員会委員を3名推薦 請願（継続審査）、陳情（採択）

## 農業委員推薦

◆農業委員会委員の推薦について

6月18日議会最終日、農業委員会等に関する法律第12条第2項の規定による議会推薦の農業委員は3人として左記の者を推薦することに決定しました。

- ・小野寺幸一さん（岩田）
- ・三芝日出子さん（内蔵新田）
- ・青木礼子さん（大曲）

◆請願・陳情  
◆請願第1号 脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願について

6月10日議会初日、総務文

教福祉常任委員会へ付託され、委員会で案件の審査が行われ、継続審査となりました。

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について

◆陳情第1号 町道7114号線の拡幅整備について

◆陳情第2号 町道7120号線の拡幅整備について



▲関係者立ち会いのもとで、現地調査を実施

### 議会会議録をご覧ください！

議会だよりを通じて、皆さんに議会の様子をお伝えしていますが、それらはほんの一部をご紹介します。詳細については、議会会議録を板倉町ホームページに掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

◎http://www.town.itakura.gunma.jp/

## 議員派遣

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

## 議員派遣

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会

### 請願・陳情等の書式及び取り扱い

町政について意見や要望がある場合には、請願書や陳情書を提出することができます。これは、みなさんの声を町政に反映させるための一つの方法です。

請願書・陳情書については、意見や要望内容が妥当かどうか所管する委員会で審査を行い、本会議において採決します。採択となった場合は、その要望の実現を議会として町へ求めます。また、その趣旨によっては、関係機関に対して意見書なども提出します。

#### ◆請願書・陳情書の提出方法

- (1) 請願・陳情の趣旨及び理由
- (2) 提出年月日
- (3) 提出者の住所・氏名

※なお、請願の場合には、趣旨に賛同する紹介議員の署名及び押印が必要です。

※下記書式例を参考に、必要事項を記載して押印したものを町議会議長に提出します。

◆請願等を提出する際は、議会事務局までお問い合わせください。

#### ▼書式例

(表紙)	(本文)
<p>・・・に関する請願書 又は陳情書</p> <p>紹介議員 氏名 印</p> <p>(陳情書は紹介議員は 必要ありません)</p>	<p>(件名)・・・に関する請願 又は陳情</p> <p>(要旨)..... (理由).....</p> <p>平 年 月 日 板倉町議会議長 様</p> <p>請願人(代表者) 住所 氏名 印</p>

## ◆議会最終日、議会日誌など

# 議 会 日 誌

### ◆5月

- 13日 板倉まつり運営委員会
- 15日 季楽里管理運営委員会／板倉町体育協会理事会・総会
- 16日 板倉町小中学校PTA連合会定期総会
- 21日 議員協議会(5月)／議員全員協議会
- 23日 議会運営委員会
- 27日 全国町村議会議長研修会
- 29日 例月出納検査

### ◆6月

- 2～3日 県議長会臨時総会及び議会議長・事務局長研修会
- 6日 町制施行60周年記念事業検討委員会
- 8日 スポーツフェスティバル
- 10～18日 6月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会、所管事務調査)、議員協議会／議員全員協議会、議会広報特別委員会
- 19日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 22日 板倉町避難訓練
- 24日 館林地区暴力団追放推進協議会役員会及び定期総会
- 29日 板倉消防団ポンプ操法大会
- 30日 水防協議会／邑楽館林地域市町村懇談会

### ◆7月

- 2日 予算決算常任委員会 事務事業評価①
- 4日 町制施行60周年記念事業検討委員会
- 7～8日 館林地区消防組協議会視察研修
- 11日 東毛広域市町村圏振興整備組合 全員協議会・臨時会
- 16日 予算決算常任委員会 事務事業評価②
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 東毛広域幹線道路建設促進連絡協議会総会
- 20日 板倉町夏季北関東硬式卓球大会
- 22日 議員協議会(7月)／議員全員協議会
- 28日 邑楽館林主要河川改修促進同盟会総会
- 31日 板倉町総合農業振興協議会視察研修／例月出納検査  
町制施行60周年記念事業検討委員会

## 昭和30年代、60年前をふり返る 議長 野中嘉之



### 議長室エッセイ

綾小路きみまろの漫談ではないが、あれから60年つまり、海老瀬村、伊奈良村、大箇野村、西谷田村の4か村が合併してから、早くも来年2月1日で60年を迎える。その前後6か月の間、記念式典やら、記念事業が行われる。板倉まつりが最初の催しとなる。今日の板倉町があるのは、諸先輩達ががんばってこられたからである。合併したころの昭和32年つまり、昭和の前半は、アニメ「となりのトトロ」を作られた宮崎駿監督の少年時代でもあり、同時に私の少年時代であった。舞台となった豊かな自然と人間愛豊かな田舎の暮らしが描かれているがそんな時代でした。テレビのない時代でした。水を汲むのも手押し式のポンプでした。学校も木造でトイレはもちろんくみ取り式、ときにおつりがきた。子供達は、牛や馬の世話(草刈り等)は当たり前でしたし、神社やお寺、また、川や野原はかっこうの遊び場でした。ガキ大将を中心に遊び、手伝いや遊びの体験を通し、たくましく生きる「術・(すべ)」を身につけてきた。住人は、道普請等の協働作業(町が支給した砂利で窪地を整地する)を通して協力しあって生きてきた。そんな時代でした。

人

々を引きつける魅力ある町に

板倉町の活用方法

大字岩田 荒井 剛さん



みなさんは旅先などで「どこからいらつしやったのですか？」と聞かれ、「群馬県の館林市です」と答えてしまつ

た経験はありませんか？ それは相手の方が板倉町を知らないだろうという思いからだと思ひます。それってとても残念な事ですよ。現状、板倉町は、町民は町外へ出掛け、町外の方は目的地へ向かうために通過してしまふ、人々の興味が薄い街です。しかし、町には少しの変革で人々が活

用したいと思える「もったいない施設」がたくさんあると思ひます。どの施設がどう変われば行きたいと思ふのか。ぜひ一度、町民の意見を聞いてみてください。人々をひきつける魅力的な町になるために、町民全員で取り組み、板倉町をアピールしていく必要があると思ひます。

子

供達が楽しく体を動かせる場所を

低下している子供の体力

大字大曲 岩上有美子さん



少子高齢化、人口減少等が原因なのでしょう。スポーツをやっていますという子供が減ってきているように感じ

ます。町でも渡良瀬グラウンド野球場の芝生の張り替え、スポーツ少年団のPRのためのパネル展示、各種クラブの新規会員の募集など、いろいろな事へ取り組んでいると思ひますが、子供達が外で体を動かすことを嫌がるのか？保護者の協力という壁が高いのでしょうか？

最近、特に、子供の体力が低下しているように感じています。子供達が楽しく体を動かせる場所、板倉町にはたくさんあるスポーツ団体がある事を知ってもらえるような大会やイベントがあれば良いと思ひます。そして、子供達の活躍する姿を広報紙などでたくさん紹介してほしいです。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

板倉町議会定例会(9月)、下表の予定で開催します。広報いたくら9月号で、詳細な日程を掲載しますので、ご確認のうえ、傍聴へお越しください。

◆問合せ 議会事務局 ☎82-1111 (内線511)

期日	会議名	開議時刻	事項
9日(木)	本会議	午前9時	定例会(初日)
10日(木)	本会議	午前9時	一般質問
11日(木)	委員会	午前9時	一般質問
9月 12日(金)	委員会	午前9時	常任委員会(所管事務調査)
16日(木)	委員会	午前9時	常任委員会(所管事務調査)
17日(木)~19日(金) ・22日(月)	委員会	午前9時	常任委員会(決算事務調査)
25日(木)	本会議	午前9時	定例会(最終日)

編集後記

6月定例議会が全議案可決され終了した。特に26年度一般会計補正予算で農業振興費の被災農業者経営体育成支援補助金3億7千万円の追加予算がある。これは今年2月の大雪により農業施設(ハウス等)の被害に対する補助金(国50%・県27%・町13%)となつている。この大雪で本町では26棟のハウス等の被害があり、その被害額は4億1千万円もの大きな被害額となった。農業は自然環境の変化に大きく左右されてしまふ。それに加え、TPP交渉の行方にも大きな影響を受けてしまふ。政府は農業の強化に向けて、農協、農業生産法人、農業委員会の改革を3点セットで進めようとしているが、我が国の農業に国際競争力がつき、安定した経営が出来る時代が来るのか道のりは厳しいと思われる。農業は国民の食料の生産を担っているの、国、県、市町村も真剣に取り組む課題であると思う。

(議会広報特別委員 今村好市記)